

会議録	
会議名	令和4年度第2回（第11回）三豊市地域公共交通活性化協議会
日時	令和4年10月26日（水）13時30分～14時40分
場所	三豊市危機管理センター301・302会議室
出席者	<p>[委員] 14名  宮崎耕輔（会長）、紀伊雅敦（副会長・オンライン）、綾章臣、  峰久数俊、上野智弘、鹿兒島康一、萬藤満、串田正人、  戸城浩二、滝口直樹、水尾佑実子（岩崎委員代理）、  木村圭佑、天羽和彦、松林宏樹（五領田委員代理）</p> <p>[事務局] 4名  交通政策課（西城課長、近藤課長補佐、森糸主任、田尾副主任）</p>
報告事項等	(1) 運賃改定の申請について（JR四国） (2) コミュニティバス等の利用促進について (3) 瀬戸内国際芸術祭会期中の交通について (4) 財田町地域乗合タクシー実証運行について (5) mobi の実証運行について

発言者	会議要旨
宮崎会長	<開会>
宮崎会長	1. 会長挨拶
宮崎会長	2. 報告事項等
上野委員	(1) 運賃改定の申請について（JR四国） <説明>
宮崎会長	以上の説明について、質問や意見等があれば。  <質問等は特に無し>
宮崎会長	説明にあったように、JRの運賃については国の審議会に諮って認可を受ける仕組みになっており、状況をこの場で情報共有いただいた。コロナによって外出機会が減ったのは確かだと思うが、日本の人口バランスを年齢別にみると、団塊の世代がかなり多い。その世代が75歳を超えてきている状況であり、高齢化

	<p>により外出機会が減少しているという背景もある。また、国勢調査によると香川県の人口は高松市ですら減少傾向にあり、そこも影響している。コロナによる運動不足等の問題もあり、公共交通は単なる移動手段としてではなく、健康等、様々な角度から考えていく必要があると思っている。</p>
事務局	<p>(2) コミュニティバス等の利用促進について  &lt;説明&gt;</p>
宮崎会長	<p>以上の説明について、質問や意見等があれば。</p>
戸城委員	<p>住民から、コミュニティバスのバス停位置を変更してほしいという声があるが、検討してもらえるのか。</p>
事務局	<p>そのような意見があれば当然検討させていただく。ただ、バス停の位置を動かすことで、現在の位置にあるバス停を使っている人からすると不便になってしまう可能性もある。そのあたりは地域住民の方々の意見をしっかりと聞きながら検討したい。また、安全面や設置位置等について、警察や道路管理者とも十分に協議しながら移設の可否を判断する必要がある。</p>
戸城委員	<p>近所に高齢者が多く、中には自宅からバス停までの距離が1 km以上ある人もいて、可能であればバス停を動かしてほしいという意見が寄せられている。また相談させてほしい。</p>
事務局	<p>まずは交通政策課へ個別にご相談いただきたい。</p>
戸城委員	<p>承知した。</p>
宮崎会長	<p>貴重なご意見をいただいた。警察や道路管理者等、必要な関係者との協議も必要になってくるので、まずは今回のように地域住民の声を市へ届けていただき、しっかりと検討してほしいと思うので、よろしく願います。</p> <p>個人的なコメントになるが、公共交通計画を策定する過程で、本協議会の委員有志で三豊市内の交通結節点やバス停等の現地調査を実施し、参加者からは散々たる状況だという意見が多く出た。以後、できることからやっということになり、改善のために色々取り組んでいる。その取り組みが少しずつ市民の皆さんの目にもとまるようになってきたようで、私自身も市民の方から「最近、市のバスが色々良くなってきている」という声をいただいたことがある。</p>

	<p>デジタルサイネージの設置にご協力いただいたゆめタウンさんにも本当に感謝する。設置することで、バス以外で来店した人の目にも留まり、バスでも来られるのかという認識に繋がってくるので、アピールしていくことが大切。自動車の運転がしんどいという人が多くいることは間違いないので、車以外でも買い物に行けるという環境づくりが必要。引き続き、色々とチャレンジしてほしい。</p>
事務局	<p><b>(3) 瀬戸内国際芸術祭会期中の交通について</b>  &lt;説明&gt;</p>
宮崎会長	<p>以上の説明について、質問や意見等があれば。</p>
水尾代理	<p>知人が栗島へ行く際にシャトルバスの存在を知らず、須田港まで車で行ってしまい、予定していた船に乗れなかったというケースがあった。私も行ってみたいと思い調べてみたが、船の出発時刻の大体何分前に駐車場に到着すればよいか等が分かりにくいように感じた。パンフレットではシャトルバスについて「8:00～18:00 運行」と記載があるが、大体何分おきに発車しているのか等の案内があってもいいのでは。</p>
事務局	<p>いただいたご意見は産業政策課にも共有し、今後の検討課題とさせていただく。シャトルバスは、実際には何分おき等ではなく、数人乗車したら発車するというような臨機応変な運用をしている。</p>
宮崎会長	<p>瀬戸芸は3年に一度、県下全域で開催されているが、臨時的な対応が多いと思うので、横の連携もしっかりとりながら取り組んでほしい。</p> <p>航路については、離島同士を結ぶ航路が少ないという意見も聞く。瀬戸内の多島美は本当に素晴らしいものなので、そのあたりも今後意識しておく必要があるかもしれない。</p>
事務局	<p><b>(4) 財田町地域乗合タクシー実証運行について</b>  &lt;説明&gt;</p>
宮崎会長	<p>以上の説明について、質問や意見等があれば。</p>
木村委員	<p>実証実験終了後、有償化等は検討されているか。</p>

事務局	有償化は検討している。無償で続けていけるものではないので、今後の利用状況等をみながら判断していきたい。
木村委員	本件のように色々な自治体で住民の細かいニーズに対応する取組みをしていて素晴らしいことだと思うが、有償化の際の利用者の反応はかなり敏感だと感じている。この実証事業中に、例えばアンケート等で料金がいくらくらいであれば有償化後も乗ってもらえるか等の意見を拾っていければ良いと思う。
事務局	実証期間中にヒアリングやアンケートを通じて意見を集約していきたい。
宮崎会長	課題は色々あるだろうが、例えば、通院に利用する際、病院の予約と乗合タクシーの予約を別々にとるよりも、病院等の施設側と連携して予約が1度で済むようにするなども考えられる。財田町の人がどんな交通手段でどこへ行っているのか等をもっと情報収集し、カスタマイズしていければ。コンセプトは良いが、バスへの乗継等の細かい部分で気になる点もあるので、実証の中で課題を洗い出しながらより良いものにしてほしい。
事務局	<p><b>(5) mobi の実証運行について</b></p> <p>&lt;説明&gt;</p>
宮崎会長	<p>説明のあった mobi もそうだが、全国的に AI デマンドタクシーのようなものが流行っていて、その1つだと理解している。要は、エリア内は定額で乗り放題、乗りたい時はアプリで呼び出すというもの。県内では、mobi の実証は三豊市と琴平町で実施されている。三豊市にはJR、コミバス、タクシーという交通手段があるが、このような新しい民間の取り組みもあるということ意識していただき、委員各位も実際に利用してみるなど、色々と意見をいただければと思う。</p> <p>本件について、質問や意見等があれば。</p>
水尾代理	運行時間は決まっているのか。
事務局	本市の場合は11:00~21:30までとなっている。
水尾代理	夜もある程度遅くまで運行しているということで、本当に自家用車に代わる移動手段になる可能性もある。実証の結果を楽しみにしている。

<p>宮崎会長</p>	<p>チラシにもあるが、子どもの塾等の送迎の負担軽減にも繋がるかもしれない。色々な交通関係の会議では高齢者の移動手段の確保ということが課題としてあげられるが、高齢者だけでなく年齢を問わず誰でも使えるようなものが整備されていけばいいと思う。</p> <p>予定していた報告事項等は以上とするが、ほとんどが事務局からの報告内容となっているので、今後は些細なことでもいいので委員各位からも報告や情報共有をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>2. その他</b></p> <p><b>(1) 次回協議会について</b></p> <p>次回は来年度のコミュニティバスの変更点等について説明させていただく予定である。1月下旬以降を予定しているのであらためてご案内させていただく。</p>
<p>紀伊副会長</p>	<p><b>(2) その他</b></p> <p>三豊市が色々な取り組みをされていることがよく分かった。また、他の自治体からも三豊市は色々やっていてすごいねという声をよく聞く。市長のリーダーシップや、関係者、行政職員のご尽力によるところだと思う。一方で、このような取り組みがどれくらい持続可能なものなのかというのはやはり気になっている。予算が切れたら事業も終わってしまうということも多々あるので、試行錯誤する中で、良い取り組みをどのように継続していくのかということも本協議会等で検討して行ってほしい。また、三豊市は多極分散型のまちづくりを目指すという中で、そのようなまちづくりとの整合性も図るといった点についても協議会で検討して行ってほしい。</p>
<p>宮崎会長</p>	<p>的確なご意見をいただいた。本日報告があったような各取り組みを有機的に組み合わせながらネットワークを形成していければと思う。今はそれぞれの取り組みをとりあえずやってみて、そこから見えてきたものを協議会でも共有し、検討しながら住みやすいまちになっていけばいいと思っている。皆さまには今後ともよろしくをお願いしたい。</p> <p>&lt;閉会&gt;</p>